

日経ビジネス電子版（日経ID決済）購読規約

第1条（定義）

日経ビジネス電子版（日経ID決済）購読規約（以下、「本規約」）における用語の定義は、以下のとおりとします。

- （1）「日経」とは、株式会社日本経済新聞社をいいます。
- （2）「日経BP」とは、株式会社日経BPをいいます。
- （3）「本サービス」とは、日経BPが提供する有料情報提供サービス「日経ビジネス電子版」をいいます。詳細は、[本サービスサイト](#)からご確認いただけます。
- （4）「購読権」とは、本サービスを利用できる権利をいいます。
- （5）「利用者」とは、購読権を購入し本サービスを利用する個人およびその希望者をいいます。

第2条（本規約の目的）

1. 本規約は、日経と利用者との本サービスの購読権の販売条件を定めています。
2. 利用者は、購読権の購入にあたり、本規約に同意するものとします。
3. 利用者が未成年である場合は、親権者など法定代理人の同意を得たうえで購読権を購入してください。

第3条（契約関係）

1. 本サービスは日経BPが提供するサービスです。日経は、日経BPから受けた非独占的販売権に基づき、利用者对本サービスの購読権を提供します。
2. 利用者は日経から購読権を購入することで、日経BPから本サービスの提供を受けることができます。

第4条（日経ID）

本サービスの利用には日経IDが必要です。取得の際には別途「[日経ID利用規約](#)」および「[日経IDプライバシーポリシー](#)」に同意していただく必要があります。

第5条（注意事項）

1. 購読権の対象は、日経BPが提供する複数の購読プランのうち「月額プラン（月額払い）」のみです。「年額プラン」は対象外です。
2. 「年額プラン」を希望する場合は、別途直接日経BPと本サービスの利用契約を締結する必要があります。
3. 利用者は、日経BPから本サービスのメールマガジンを受信することを了承した上で、購読権を購入するものとします。

第6条（料金）

1. 購読権の料金は、月額2,500円（通常料金、税込み）です。

2. 申込日から1か月間は、無料体験期間です。ただし、過去に本サービスを利用し、その利用終了日から1年間を経過していない利用者は、1か月無料体験が適用されず、申込日に、同日からその月の末日までの日数に単価83円を掛けた金額を課金します。
3. 利用者が以下の課金日時点において、日経ID決済で「日本経済新聞 電子版」、「日本経済新聞」を購読している場合（無料体験期間中も含む）、auかんたん決済で「日本経済新聞 電子版」を購読している場合（無料体験期間中も含む）、またはd払いで「日本経済新聞 電子版」を購読している場合（無料体験期間中を含む）に、読者割引が適用され、650円を割引きます。
4. 利用者はいつでもご購読サポート画面から解約でき、利用期間終了日まで本サービスを引き続き利用できます。月途中の解約申込みであっても、残期間の利用料金は返金されません。
5. 利用期間の末日までに利用者による解約手続きが行われな限り、購読権の購入契約は自動的に更新されます。

<無料体験期間あり>

期間	① 申込日から1か月間 (無料体験期間) (※1)	② ①の終了日の翌日から その月の末日	③ ②の翌月以降の毎月
課金日	—	①の終了日の翌日	毎月1日
利用料金	無料	単価計算 83円/日 (※2)	月額2,500円
読者割引	—	- 650円 (※3)	- 650円

<無料体験期間なし>

期間	① 申込日からその月の末日	② ①の翌月以降の毎月
課金日	申込日	毎月1日
利用料金	単価計算 83円/日 (※2)	月額2,500円
読者割引	- 650円 (※3)	- 650円

(※1) 1か月間とは、申込日から翌月の申込日に相当する日の前日までを意味します。ただし、翌月に申込日に相当する日がない場合には翌月の末日の前日までとします。

(※2) 単価計算の場合でも課金金額は2,500円を超えません。

(※3) 割引後の金額がマイナスになる場合は、当該期間の料金は0円とします。

- (1) 法令に違反する行為または犯罪行為に関連する行為
- (2) 公序良俗に反する行為
- (3) 本サービスのネットワークまたはシステム等に過度の負担をかける行為
- (4) 日経または日経BPのネットワークまたはシステム等に不正にアクセスし、または不正なアクセスを試みる行為
- (5) 第三者に成りすます行為
- (6) 本サービスの他の会員のIDまたはパスワードを利用する行為
- (7) 日経または日経BPに対して、自らまたは第三者を利用して、詐術、暴力的行為または脅迫的言辞を用いるなどする行為
- (8) 日経または日経BPに対して、自身が反社会的勢力である旨を伝え、または関係団体もしくは関係者が反社会的勢力である旨を伝えるなどする行為
- (9) 自らまたは第三者を利用して、日経または日経BPの名誉や信用等を毀損し、もしくは毀損するおそれのある行為
- (10) 自らまたは第三者を利用して日経または日経BPの業務を妨害し、または妨害するおそれのある行為
- (11) 日経、日経BPまたはその他の第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- (12) 反社会的勢力への利益供与
- (13) 前各号の行為を直接または間接に惹起し、または容易にする行為
- (14) その他日経または日経BPが不相当と認める行為

第12条（損害賠償）

利用者による本規約違反行為その他本サービスの利用に起因して、日経および日経BPが損害を被った場合、日経および日経BPは、当該利用者に対して、被った損害の賠償を請求することができます。

第13条（データ利用）

日経および日経BPは、それぞれのデータ利用ポリシーに従い利用者の本サービスへのアクセス状況や利用方法等に関する情報を収集することがあります。ただし、個人を特定できる情報の収集はいたしません。

- ・ 日経：「[データ利用について](#)」
- ・ 日経BP：「[ネットにおける情報収集](#)」

第14条（免責および損害賠償）

1. 本サービスは投資勧誘を目的としたものではありません。利用者は、本サービスを利用することにより得た情報を、利用者自身の判断と責任において利用するものとし、日経または日経BPはその責任を負いません。
2. 日経または日経BPは、本サービスおよび本サービスが提供する情報について、その完全性、正確性、有用性などに関して、いかなる責任も負いません。

3. 日経または日経BPの損害賠償責任については、[日経ID利用規約](#)第30条（免責および損害賠償）の定めが適用されます。この場合日経ID利用規約第30条の「日経」は「日経または日経BP」に読み替えて適用されます。

第15条（本規約の変更）

本規約の変更にあたっては、[日経ID利用規約](#)第20条（本規約の変更）の定めが適用されます。

第16条（準拠法・合意管轄）

日経と利用者との間で、本規約に基づく、またはこれに関連する訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。また、本規約に関する準拠法は日本法とします。

以上

2022年6月1日制定
2023年10月31日改定
2024年1月17日改定
2025年2月25日改定